

[大修館] 英語授業ハンドブック〈中学校編〉DVD付

金谷 憲 編集代表 青野 保/太田 洋/
馬場哲生/柳瀬陽介 編集

A5判 384pp. DVD 1枚付
本体3,600円+税

萬谷隆一



「見ながら読む」指導技術解説書

英語教育にかかわる最近の世間の関心は、かなり小学校英語に向けられている。おそらく中学・高校の教師の中には、一種の違和感を抱く方もおられるのではないかと拝察する。「やはり英語教育の本流は中学校や高校にある」と信ずる方も多いと思われる。本書の背景には、中学や高校の英語教育から世間の関心が離れがちな時期にあって、英語教育の本流たる中学・高校の英語教育にこそ知恵と活力を与えたいという並々ならぬ使命感を感じる。そして、実際に、本書はそうした英語教育の活性化剤としての役割を果たすことのできる革新的な書物であると思われる。

これまでの英語指導ハンドブックの類書と異なり、本書の革新的特長は、DVDが付属しているという点である。従来の指導書の多くは、指導技術を「ことば」で説明することが一般的であるが、指導技術の実際をことばでの説明からイメージすることは容易ではない。しかし本書は、項目によって当該指導技術を使った実際のDVD映像が見られるため、まことに理解が容易である。こうした映像による例示は、とりわけ初心の中学校教師や教師を目指す学生には大きな福音となるであろう。初心者ほど、まだ指導経験が浅く、「ことば」による説明を読むだけでは実際の指導をイメージすることが難しいからである。百聞（百説？）は一見に如かず、とはよく言ったもので、このDVDを見ながら読む本書の分かりやすさは特筆に値する。従来の指導書と異なり、本書で解説されている指導技術は、映像のおかげで、血の通った教師と生徒のやりとりとして鮮やかに脳裏に残り、明日の授業に役立てられる気持ちにさせられるであろう。

ちなみに、本書の全ての項目にDVD映像が付いていることに不満を持つ読者もいるかもしれないが、映像資料があった方が良い項目が優先されて選ばれている。それら指導項目には、シャドーイング、インフォメーションギャップ、スキットなど、誰でも使えて、効果がある指導技術が選ばれている。また、ディクト・コンボ、ディクト・グロス、レスポンス・レシテーションなど、一般にイメージしにくい技術なども映像化され、一見してその方法が分かるようになっていく。なおDVDに収録された指導技術は、細切れのテクニックの紹介ではなく、一連の授業の流れとして提示されている点も大変好感が持てる。なぜならば、指導技術の有効性は一連の技術の組み合わせの中で高まるものであり、また個々の指導技術の役割も流れの中でこそ明確に意識できるからである。

さて、このようなメディア的な革新性もさることながら、本書は中学校英語指導書としての基本性能もとても高い。たとえば、リーディングに関する節（第2章）などは、編者がタスクによるリーディング授業（和訳先渡し）を推し進めてきたことを反映してか、豊富なタスクが紹介されており、読みの授業の幅を広げてくれるであろう。

また入門期の指導（第1章）の解説も大変参考になる。小学校英語を経験してきた生徒たちをいかに中学での英語学習に導くかについて具体的示唆が有益である。第7章「クラスルーム・マネージメント」や第8章「自律的学習者に育てるための工夫」とも関連するが、本書は指導技術面だけでなく、生徒の学習態度面での指導についての項目も充実している。その他、第5章の「評価」も、パフォーマンステスト、自己評価など興味深い実例が示されており、最近の中学校英語科の評価の拡がりを知ることができる。

本書は、基本的な技術だけでなく、少し上級のアイデアまで網羅しており、初心者でも友人でも得るものがある項目立てになっている。執筆者が、第一線で活躍する英語教師たちであることもあってか、日常の指導に役立つコツがちりばめられている。英語教育の本流を担おうとする志ある英語教師の必携書として強く勧めたい。

（よろずや りゅういち・北海道教育大学教授）